

環境クリーン部長目標

環境クリーン部長 廣川 澄芳(ひろかわ すみよし)



環境クリーン部の仕事

環境クリーン部は、環境政策課(マチごとエコタウン推進室)、環境対策課、生活環境課、みどり自然課、資源循環推進課(一般廃棄物最終処分場整備室)、東西クリーンセンター及び収集管理事務所の8課2室で構成され、地球温暖化対策、生活環境の向上、みどりの保全・創出、公害対策等の環境施策と廃棄物処理施策の推進を主な仕事としています。

環境クリーン部の令和2年度の目標

環境クリーン部は、「所沢市マチごとエコタウン推進計画」に掲げる将来像「“人” “自然”との絆で、子どもたちの未来を紡ぐ エコタウン所沢」の実現を目指し、各種施策を実施します。

具体的には、

- ・再生可能エネルギーや省エネルギーの推進
- ・人と自然の共生に向けた、みどりの保全・創出、
- ・循環型社会の形成に向けた、ごみの減量・資源化
- ・健康で安心して暮らせる環境づくり
- ・市民や事業者とともに実践する環境づくり

に取り組み、所沢市を持続可能なまちにしていきます。

また、上記を通じて、持続可能な世界を実現するための国際目標であるSDGs(持続可能な開発目標)に貢献します。

目標達成に向けた重点事業

	事業項目	事業の概要	事業の数値目標	年度末の目標達成度合
1	マチごと低炭素社会の推進	低炭素社会の構築に向けて、環境性能の高い電力の利用促進、創エネ・省エネ機器等の導入や住宅性能の向上に対する支援など、環境配慮行動を推進します。	再生可能エネルギーの利用推進及び省エネルギーの推進 ・スマートハウス化推進補助事業の実施 補助件数:560件以上 ・公共施設太陽光発電等設置事業の実施 設置規模:40kW以上、CO2削減量:15t-CO2/年以上 環境にやさしい電力の利用推進による二酸化炭素削減 ・地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の取組み推進 温室効果ガス排出量の基準年度比削減率:21.9%以上	再生可能エネルギーの利用推進及び省エネルギーの推進 ・スマートハウス化推進補助事業の実施 補助件数:566件 64,617千円 ・公共施設太陽光発電等設置事業の実施 設置場所:向陽中学校、設置規模:26.4kWh、CO2削減量:14t-CO2/年以上 環境にやさしい電力の利用推進による二酸化炭素削減 ・地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の取組み推進 温室効果ガス排出量の基準年度比削減率:67.40%

2	<p>人と自然の共生に向けた、みどりの保全・創出</p>	<p>みどりや河川を相互に結ぶ水とみどりがつくるネットワーク計画を推進し、市域全体の魅力向上を図ります。 みどりの施策と連動し、エコロジカルネットワークを構築するため、生物多様性の確保を図ります。 また、里山保全地域等の指定手続きや、消失のおそれがある緑地の公有地化を進め、ふるさと所沢のみどりを保全します。 さらに、魅力ある狭山丘陵のみどりに触れる機会を創出し、散策者等の安全を確保するため、市道5-4号線において人道橋の整備を推進します。</p>	<p>水とみどりがつくるネットワーク計画推進 ・水とみどりがつくるネットワーク計画の完成 ・計画を活用し、散策マップを商業観光課と連携して作成 ・関係課調整会議を開催し、計画の進捗を管理 生物多様性ところざわ戦略策定 ・指標動植物調査の実施 ・生物多様性の啓発事業の実施 ・パブリックコメントの実施 ・みどりの審議会から答申を得て生物多様性ところざわ戦略を策定 里山保全地域等の指定 ・駒ヶ原特別緑地保全地区の再拡大 ・堀口天満天神社周辺里山保全地区の拡大(水田の追加) 消失の恐れがある緑地の公有地化 ・購入: 上山口地内ほか5筆(1筆分筆) 埼玉県身近な緑公有地化事業の活用 狭山湖周辺人道橋の整備 ・工事完了・開通を目指す</p>	<p>水とみどりがつくるネットワーク計画推進 ・6月に「水とみどりがつくるネットワーク計画」完成 ・計画を活用し「所沢市おさんぼナビ」を商業観光課と連携して10月作成 ・11月に関係課調整会議を開催し、計画の進捗を管理 生物多様性ところざわ戦略策定 ・年間を通して指標動植物調査の実施 ・生物多様性の啓発用ニュースレター(3回)の発行 ・12月にパブリックコメントの実施 ・みどりの審議会から答申を得て「生物多様性ところざわ戦略」を策定 里山保全地域等の指定 ・くぬぎ山特別緑地保全地区の都市計画決定(指定拡大16.6ha) ・上山口堀口天満天神社周辺里山保全地区の拡大(水田の追加で24.3ha) ・若狭二丁目市民の森(1.33ha)の指定 ・東所沢四丁目(0.05ha)、若狭一丁目(0.13ha)まちなかみどり保全地区の指定 消失の恐れがある緑地の公有地化 ・購入: 上山口、北中、下富地内ほか6筆(市購入3筆: 5,640㎡) 埼玉県身近な緑公有地化事業の活用 狭山湖周辺人道橋の整備 ・工事完了、開通(3月末)</p>
3	<p>循環型社会の形成に向けた、ごみの減量・資源化</p>	<p>廃棄物減量等推進審議会での審議等を通じて、今後の本市におけるごみ減量方策を調査・検討します。 様々な啓発活動を通じて、ごみ減量・リユース・資源化を推進します。 また、(仮称)第2一般廃棄物最終処分場の建設に向け、用地の購入等を進めます。 さらに、安全・安定的な廃棄物処理システムを維持・推進します。</p>	<p>ごみ減量・資源化の推進 ・今後のごみ減量方策について、方針を決定していく。 ・総ごみ量・焼却量・リサイクル率・集団資源回収量等について一般廃棄物処理基本計画数値以上とする。 ・生ごみ処理機器導入と・粗大ごみ(家具など)のリユースの推進 ごみ減量等の啓発活動の実施 ・収集車等を活用した啓発の実施 (仮称)第2一般廃棄物最終処分場の整備推進 ・建設用地の公有地化 マチごとプラスチック削減宣言の具現化 ・リユース食器等の利用促進 食品ロスゼロのまち促進事業 ・食品ロスの実態を把握し、削減啓発方針を策定するための基礎調査を行う。</p>	<p>ごみ減量・資源化の推進 ・所沢市廃棄物減量等推進審議会を4回開催。令和3年2月の答申では、ごみの有料化制度の導入がさらなるごみ減量方策として期待できるとのご意見をいただいた。 ・総ごみ量: 99,558t ・焼却量: 80,670t ・リサイクル率: 31.0% ・集団資源回収量: 9,684t ・生ごみ処理機器等の奨励金交付数: 115基 ・再生家具の頒布: 1,402件 ごみ減量等の啓発活動の実施 ・食品ロス食べきりレシピ配信: 広報ところざわ10月号、12月号、広報にあわせてtwitter公開 ・プラの各種イベント: 秋の海ごみゼロウォークに参加し地域の清掃活動を実施。 (仮称)第2一般廃棄物最終処分場の整備推進 ・建設用地の一部購入(累積43筆: 55,613.79㎡)取得率約96% マチごとプラスチック削減宣言の具現化 ・給水スポットを市内に37台設置。 ・広報ところざわで「海のカメさんと考える脱プラな暮らし」を3回連載。 ・東川の清掃を実施し、「水辺のごみ見つけ!」に参加。 ○食品ロスゼロのまち促進事業 ・新型コロナウイルス感染症により、食品ロス実態調査員の感染防止、新しい生活様式への移行により適正な調査結果が得られない等の理由から、食品ロス実態調査を中止した。今後、実施時期等を検討する。</p> <p>暫定値</p>

4	<p>市民や事業者とともに実践する環境づくり</p>	<p>マチごとエコタウン推進計画を推進するため、市、市民及び事業者等で協働します。</p>	<p>環境推進員連絡協議会との協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境美化の日の実施 「みどりのパートナー」等の活動の推進 ・みどりのパートナーの登録者 出前講座の充実 ・プラスチックごみ削減 ・環境行動によるSDGs推進 ・再エネ、省エネ利用の推奨 ・環境教育の推進 <p>環境審議会の答申を踏まえた新たな協働取組の検討</p>	<p>環境推進員連絡協議会との協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境美化の日の参加人数：秋のみ1回開催 13,341人 「みどりのパートナー」等の活動の推進 登録者 1,454人 出前講座の充実・拡充 ・環境教育・SDGs推進出前講座等 温暖化・SDGs関係 3回実施 435人 こどもエコクラブ 11団体 メンバー687人 ・プラスチックごみ削減 <p>広報所沢で連載記事により周知</p> <p>環境審議会答申(11/17)を踏まえ、各主体と協同で以下の取組を検討、来年度に実施予定。</p> <p>マチエコリーダー養成事業、マチエコ推進ワークショップ開催、企業と共働したカーボンオフセット啓発事業</p>
---	----------------------------	---	--	---